

～世界に認められた沖縄の宝の海『ホープスポット』を未来へ～

辺野古・大浦湾 シンポジウム2021

辺野古・大浦湾は多くの生命が満ち溢れる生物多様性豊かな海です。世界的な海洋保護区である『ホープスポット』（希望の海）にも認定され、日本としても、世界的にも誇れる豊かさをもっています。しかしながら、今、辺野古新基地建設という大きな問題が立ちはだかっています。

この海の持つ意味を知り、いかに未来に引き継ぐか
県民のみなさんとともに考えたいと思います。

9/11 (土) 13:00～
終了 15:45



玉城デニー
沖縄県知事



鎌尾彰司
日本大学理工学部准教授



シルヴィア・
アール博士

プログラム

玉城デニー沖縄県知事 あいさつ

第1部 基調講演

鎌尾彰司（日本大学理工学部准教授）「辺野古の軟弱地盤と基地建設」
安部真理子（日本自然保護協会）「辺野古・大浦湾の『ホープスポット』認定について」
シルヴィア・アール博士（海洋学者、ミッション・ブルー代表）からのメッセージ動画

第2部 パネルディスカッション「辺野古・大浦湾の価値を探る」

コーディネーター 吉田正人（筑波大学教授）

パネリスト

- ・中井達郎（国士舘大学講師）・藤田喜久（沖縄県立芸術大学教授）
- ・吉川秀樹（ジュゴン保護キャンペーンセンター）・鎌尾彰司（日本大学）・安部真理子（日本自然保護協会）

オンライン開催

事前申込み不要

参加無料

当日のライブ
配信はこちら



“辺野古大浦湾シンポジウム2021”で検索 🔍

お問い合わせ先

03-3553-4101 ✉ hogo@nacsj.or.jp

※新型コロナウイルス状況によっては、シンポジウムの内容を変更させていただく場合があります。
詳細は沖縄県と日本自然保護協会のホームページからご案内いたします。

主催 | 沖縄県 企画運営 | 公益財団法人日本自然保護協会
沖縄県辺野古対策課 098-866-7495 | aa071404@pref.okinawa.lg.jp

第1部



鎌尾 彰司 | かまお しょうじ

日本大学准教授。理工学部土木工学科環境地盤研究室で軟弱地盤の沈下、砂地盤の液状化などを研究。辺野古の軟弱地盤問題には2018年に報道で「マヨネーズ並みの柔らかさ」であるとの指摘が取り上げられて以降関わりを持ち、沖縄県への「軟弱地盤上の構造物建設に関する意見書」の提出や県の「米軍基地問題に関する万国津梁会議」での講演等で軟弱地盤の問題について述べている。



安部 真理子 | あべ まりこ

日本自然保護協会 保護部 主任。沖縄・奄美の問題や日本の沿岸管理の問題を担当している。ジェームズクック大学と琉球大学にてサンゴの生物学を専攻し、博士号(理学)を取得。1997年に日本国内でのリーフチェック立ち上げに関わり、コーディネーターをつとめている。

シルヴィア・アール

米NGOミッションブルーの代表をつとめ、2009年よりホープスポットと呼ばれる海洋保護区を世界中に設置し海の保護を広めている。海洋探検家かつ海洋学者。NOAA(米国大気海洋局)のチーフサイエンティストの経験もある。ナショナルジオグラフィック協会所属の探検家でもある。



第2部



吉田 正人 | よしだ まさひと

筑波大学大学院世界遺産専攻教授

藤田 喜久 | ふじた よしひさ

沖縄県立芸術大学全学教育センター教授

中井 達郎 | なかい たつお

国士舘大学・立正大学非常勤講師・博士(理学)

吉川 秀樹 | よしかわ ひでき

ジュゴン保護キャンペーンセンター国際担当
Okinawa Environmental Justice Project 代表

「ホープスポット」について



世界で最も重要な海域に“保護の網”をかけるために、シルヴィア・アール博士が考案した制度です。生物多様性や地形の豊かさ、文化や歴史、地域の人たちの想いや活動などが評価されます。2009年から行われ、現在では世界で135カ所が認定されています。2019年に辺野古・大浦湾一帯が日本で初めて認定されました。ホープスポット認定を進めるためにミッションブルーという団体が立ち上げられました。



辺野古・大浦湾を中心に松田(宜野座)から天仁屋までの海域がホープスポットに認定されています。